

RS豪ドル債券ファンド 〈愛称 為替リスク配慮型豪ドル債券ファンド〉

運用報告書（全体版）

第78期（決算日 2018年12月17日） 第80期（決算日 2019年2月18日） 第82期（決算日 2019年4月17日）
第79期（決算日 2019年1月17日） 第81期（決算日 2019年3月18日） 第83期（決算日 2019年5月17日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。
「RS豪ドル債券ファンド」は、2019年5月17日に第83期の決算を行ないましたので、第78期から第83期の運用状況をまとめてご報告申しあげます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申しあげます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2012年7月11日から2022年5月17日までです。
運用方針	主として、豪ドル建ての債券を主要投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行なうとともに、市況動向等に応じて為替ヘッジを行なうことにより、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「オーストラリア・ボンド・ファンド クラスA」豪ドル建受益証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	第1計算期は収益分配を行ないません。第2計算期以降、毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。

<641790>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			債 組 入 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 騰 落					
	円		円		%		%	百万円	
54期(2016年12月19日)	9,469		60		—		98.8	4,935	
55期(2017年1月17日)	9,397		60	△0.1	—		98.5	5,029	
56期(2017年2月17日)	9,531		60	2.1	—		99.0	5,059	
57期(2017年3月17日)	9,474		60	0.0	—		98.9	5,011	
58期(2017年4月17日)	9,028		60	△4.1	—		99.0	4,795	
59期(2017年5月17日)	9,140		60	1.9	—		98.7	4,762	
60期(2017年6月19日)	9,370		60	3.2	—		99.4	4,712	
61期(2017年7月18日)	9,540		60	2.5	—		98.3	4,219	
62期(2017年8月17日)	9,486		60	0.1	—		98.3	3,838	
63期(2017年9月19日)	9,550		60	1.3	—		98.6	3,719	
64期(2017年10月17日)	9,439		60	△0.5	—		98.8	3,453	
65期(2017年11月17日)	9,223		60	△1.7	—		98.8	3,240	
66期(2017年12月18日)	9,231		60	0.7	—		99.0	3,251	
67期(2018年1月17日)	9,308		60	1.5	—		98.5	3,236	
68期(2018年2月19日)	8,803		60	△4.8	—		99.4	2,977	
69期(2018年3月19日)	8,569		60	△2.0	—		99.5	2,903	
70期(2018年4月17日)	8,630		60	1.4	—		98.3	2,924	
71期(2018年5月17日)	8,531		60	△0.5	—		97.9	2,877	
72期(2018年6月18日)	8,457		60	△0.2	—		98.5	2,803	
73期(2018年7月17日)	8,550		60	1.8	—		99.0	2,787	
74期(2018年8月17日)	8,240		60	△2.9	—		99.0	2,643	
75期(2018年9月18日)	8,119		60	△0.7	—		98.2	2,563	
76期(2018年10月17日)	8,050		60	△0.1	—		98.4	2,504	
77期(2018年11月19日)	8,249		60	3.2	—		98.1	2,530	
78期(2018年12月17日)	8,038		60	△1.8	—		98.1	2,432	
79期(2019年1月17日)	7,853		60	△1.6	—		97.8	2,325	
80期(2019年2月18日)	7,968		60	2.2	—		98.7	2,350	
81期(2019年3月18日)	7,964		60	0.7	—		99.0	2,325	
82期(2019年4月17日)	8,059		60	1.9	—		97.9	2,325	
83期(2019年5月17日)	7,663		60	△4.2	—		99.1	2,183	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

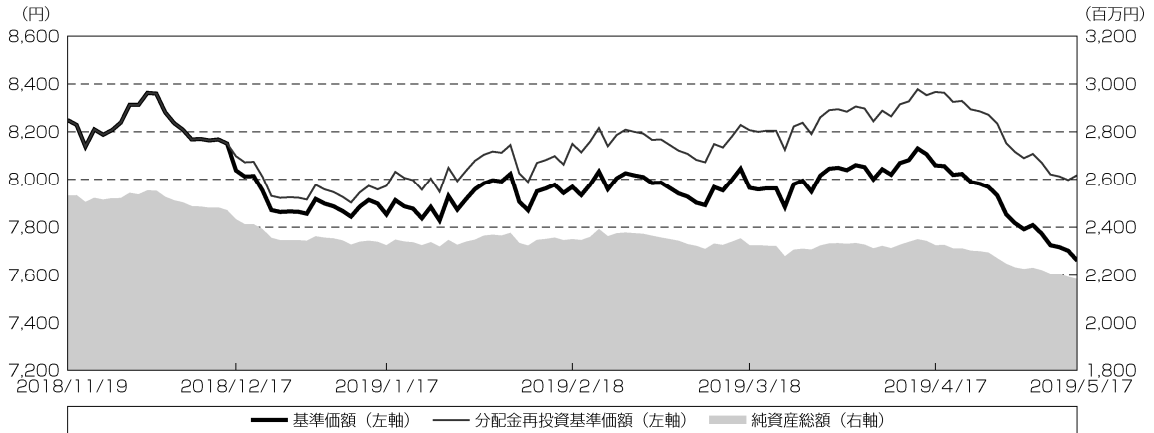
決算期	年 月 日	基準	価 額		投資信託 組 入 比	託 券 率
			騰 落	率		
第78期	(期 首) 2018年11月19日	円		%		%
		8,249		—		98.1
	11月末	8,313		0.8		98.9
第79期	(期 末) 2018年12月17日	8,098		△1.8		98.1
	(期 首) 2018年12月17日	8,038		—		98.1
	12月末	7,856		△2.3		97.2
第80期	(期 末) 2019年1月17日	7,913		△1.6		97.8
	(期 首) 2019年1月17日	7,853		—		97.8
	1月末	7,958		1.3		98.2
第81期	(期 末) 2019年2月18日	8,028		2.2		98.7
	(期 首) 2019年2月18日	7,968		—		98.7
	2月末	8,010		0.5		98.9
第82期	(期 末) 2019年3月18日	8,024		0.7		99.0
	(期 首) 2019年3月18日	7,964		—		99.0
	3月末	8,016		0.7		98.1
第83期	(期 末) 2019年4月17日	8,119		1.9		97.9
	(期 首) 2019年4月17日	8,059		—		97.9
	4月末	7,931		△1.6		98.7
	(期 末) 2019年5月17日	7,723		△4.2		99.1

(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

○運用経過

(2018年11月20日～2019年5月17日)

作成期間中の基準価額等の推移



第78期首：8,249円

第83期末：7,663円 (既払分配金(税込み)：360円)

騰落率：△2.8% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2018年11月19日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、豪ドル建ての債券を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行なうとともに、市況動向などに応じて為替ヘッジを行なうことにより、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・保有債券からの利息収入を得たこと。
- ・オーストラリアの債券利回りが総じて低下(債券価格は上昇)したこと。

<値下がり要因>

- ・オーストラリアドルが円に対して下落したこと。

投資環境

(豪ドル建て債券市況)

オーストラリアの債券市場では、債券利回りは、期間の初めと比べて総じて低下しました。

小売売上高などの経済指標が市場予想を上回ったことなどが債券利回りの上昇（債券価格は下落）要因になったものの、オーストラリア準備銀行（RBA）総裁が政策金利見通しについて金融引き締めスタンスから中立に転換したことや、オーストラリアの2018年10-12月期国内総生産（GDP）などが市場予想を下回り、RBAによる政策金利の引き下げ期待が高まったこと、オーストラリアの主要貿易相手国である中国の低調な経済指標が発表され、中国景気減速への懸念が高まったこと、米国が中国製品の輸入関税の税率引き上げを発表し、これに対して中国が報復的な関税措置を発表するなど、米国と中国との間の貿易を巡る対立が深刻化し投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、オーストラリアの債券利回りは総じて低下しました。

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.07%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.07%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.32%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.16%近辺で期間末を迎えました。

(為替市況)

期間中における円／オーストラリアドル相場は、右記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

(当ファンド)

収益性を追求するため、「オーストラリア・ボンド・ファンド クラスA」豪ドル建受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。なお、期間中においては、2018年11月下旬、12月中旬、12月下旬から2019年1月上旬に一時的に為替ヘッジを行ないました。為替ヘッジの効果は若干のプラスに寄与しました。

(オーストラリア・ボンド・ファンド クラスA)

ポートフォリオでは、国債、準政府債や政府保証債、国際機関債、社債などを中心に、BBB一格相当以上の豪ドル建ての公社債の中から、投資対象銘柄を選別しました。

期間を通じて、満期が5年以下の社債および金融債の組入比率を高めとし、また、満期が10年を超えるソブリン債や国際機関債、地方債など格付けの高い銘柄を中心に選好するスタンスを維持しました。

デュレーション（金利感応度）については、長めを維持する方針を継続し、5.3年～5.6年程度の範囲で推移させました。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
	2018年11月20日～ 2018年12月17日	2018年12月18日～ 2019年1月17日	2019年1月18日～ 2019年2月18日	2019年2月19日～ 2019年3月18日	2019年3月19日～ 2019年4月17日	2019年4月18日～ 2019年5月17日
当期分配金 (対基準価額比率)	60 0.741%	60 0.758%	60 0.747%	60 0.748%	60 0.739%	60 0.777%
当期の収益	44	42	28	26	28	21
当期の収益以外	15	17	31	33	31	38
翌期繰越分配対象額	1,951	1,934	1,902	1,869	1,838	1,800

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、原則として「オーストラリア・ボンド・ファンド クラスA」豪ドル建受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。また期間末現在、為替ヘッジは行なっておりません。今後、金融市場の変動が大きくなると判断される局面では為替ヘッジを実施し、基準価額への為替変動の影響を抑えることをめざします。

(オーストラリア・ボンド・ファンド クラスA)

引き続き、国債、準政府債や政府保証債、国際機関債、社債などを中心に、BBB-格相当以上の豪ドル建ての公社債の中から、投資対象銘柄を選別し、分散投資を行なう方針です。債券運用に関しては以下の事を検討します。①デュレーションを再びオーバーウェイトとし、短期金利がインプライドキャッシュレートよりも高いことから、短期債のオーバーウェイトポジションを愛好します。②すべてのセクターに関して残存期間0～5年の社債のウェイトを高め維持するとともに、残存期間7年以上の準国債のウェイトを国債に対して高めに維持します。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年11月20日～2019年5月17日)

項 目	第78期～第83期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	36	0.445	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(5)	(0.058)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(30)	(0.371)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	4	0.053	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.012)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(3)	(0.039)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	40	0.498	
作成期間の平均基準価額は、8,014円です。			

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

○売買及び取引の状況

(2018年11月20日～2019年5月17日)

投資信託証券

銘柄		第78期～第83期					
		買付			売付		
		口数	金額	口数	金額		
外国	オーストラリア	千口	千オーストラリアドル	千口	千オーストラリアドル		
	オーストラリア・ボンド・ファンドクラスA	216	170	3,365	2,650		

(注) 金額は受け渡し代金。

○利害関係人との取引状況等

(2018年11月20日～2019年5月17日)

利害関係人との取引状況

<RS 豪ドル債券ファンド>

区分	第78期～第83期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
金銭信託	百万円 306	百万円 306	% 100.0	百万円 306	百万円 306	% 100.0

<マネー・アカウント・マザーファンド>

区分	第78期～第83期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
金銭信託	百万円 3,127	百万円 3,127	% 100.0	百万円 3,127	百万円 3,127	% 100.0

平均保有割合 1.2%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当ファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2018年11月20日～2019年5月17日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2018年11月20日～2019年5月17日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2019年5月17日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

銘柄	第77期末		第83期末		
	口数	口数	評価額		比率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア)	千口	千口	千オーストラリアドル	千円	%
オーストラリア・ボンド・ファンド クラスA	38,841	35,692	28,557	2,163,510	99.1
合計	38,841	35,692	28,557	2,163,510	99.1

(注) 邦貨換算金額は、第83期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

親投資信託残高

銘柄	第77期末		第83期末	
	口数	口数	口数	評価額
マネー・アカウント・マザーファンド	千口	千口	千口	千円
	5,978	5,978	5,978	5,995

(注) 親投資信託の2019年5月17日現在の受益権総口数は、447,989千口です。

○投資信託財産の構成

(2019年5月17日現在)

項目	第83期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円	%
	2,163,510	97.7
マネー・アカウント・マザーファンド	5,995	0.3
コール・ローン等、その他	43,913	2.0
投資信託財産総額	2,213,418	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当作成期末における外貨建純資産 (2,171,717千円) の投資信託財産総額 (2,213,418千円) に対する比率は98.1%です。

(注) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1オーストラリアドル=75.76円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第78期末	第79期末	第80期末	第81期末	第82期末	第83期末
	2018年12月17日現在	2019年1月17日現在	2019年2月18日現在	2019年3月18日現在	2019年4月17日現在	2019年5月17日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	2,503,703,544	2,352,768,912	2,398,082,525	2,352,632,863	2,355,353,433	2,213,418,715
コール・ローン等	79,885,642	72,309,163	57,929,452	44,296,373	72,113,752	43,912,813
投資信託受益証券(評価額)	2,386,090,637	2,274,462,884	2,319,537,074	2,302,340,223	2,277,243,414	2,163,510,232
マネー・アカウント・マザーファンド(評価額)	5,996,865	5,996,865	5,996,267	5,996,267	5,996,267	5,995,670
未収入金	31,730,400	—	14,619,732	—	—	—
(B) 負債	71,141,895	27,328,606	47,185,588	26,901,313	29,961,147	29,992,189
未払金	27,530,920	—	14,751,981	—	—	—
未払収益分配金	18,158,780	17,767,592	17,702,050	17,521,475	17,313,122	17,096,927
未払解約金	22,447,079	6,328,343	11,286,257	6,017,805	9,035,589	9,188,323
未払信託報酬	1,748,360	1,815,432	1,863,451	1,636,855	1,733,774	1,690,604
未払利息	101	84	46	27	74	47
その他未払費用	1,256,655	1,417,155	1,581,803	1,725,151	1,878,588	2,016,288
(C) 純資産総額(A-B)	2,432,561,649	2,325,440,306	2,350,896,937	2,325,731,550	2,325,392,286	2,183,426,526
元本	3,026,463,427	2,961,265,463	2,950,341,764	2,920,245,971	2,885,520,408	2,849,487,851
次期繰越損益金	△ 593,901,778	△ 635,825,157	△ 599,444,827	△ 594,514,421	△ 560,128,122	△ 666,061,325
(D) 受益権総口数	3,026,463,427口	2,961,265,463口	2,950,341,764口	2,920,245,971口	2,885,520,408口	2,849,487,851口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,038円	7,853円	7,968円	7,964円	8,059円	7,663円

(注) 当ファンドの第78期首元本額は3,067,238,385円、第78～83期中追加設定元本額は164,627,031円、第78～83期中一部解約元本額は382,377,565円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第78期0.8038円、第79期0.7853円、第80期0.7968円、第81期0.7964円、第82期0.8059円、第83期0.7663円です。

(注) 2019年5月17日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は666,061,325円です。

○損益の状況

項 目	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
	2018年11月20日～ 2018年12月17日	2018年12月18日～ 2019年1月17日	2019年1月18日～ 2019年2月18日	2019年2月19日～ 2019年3月18日	2019年3月19日～ 2019年4月17日	2019年4月18日～ 2019年5月17日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	15,446,558	14,561,613	8,830,805	8,736,215	8,630,584	8,090,436
受取配当金	15,559,375	14,574,285	8,847,567	8,750,818	8,646,665	8,091,624
受取利息	3,979	87	168	323	-	-
支払利息	△ 116,796	△ 12,759	△ 16,930	△ 14,926	△ 16,081	△ 1,188
(B) 有価証券売買損益	△ 59,460,292	△ 49,431,082	44,721,088	9,411,453	37,782,348	△ 101,790,257
売買益	22,534,627	66,162,053	45,022,962	28,855,656	65,123,289	27,313,935
売買損	△ 81,994,919	△ 115,593,135	△ 301,874	△ 19,444,203	△ 27,340,941	△ 129,104,192
(C) 信託報酬等	△ 1,911,094	△ 2,041,131	△ 2,091,984	△ 1,844,975	△ 1,950,481	△ 1,893,467
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 45,924,828	△ 36,910,600	51,459,909	16,302,693	44,462,451	△ 95,593,288
(E) 前期繰越損益金	△ 640,229,008	△ 682,335,913	△ 720,840,872	△ 662,984,065	△ 639,300,451	△ 591,877,415
(F) 追加信託差損益金	110,410,838	101,188,948	87,638,186	69,688,426	52,023,000	38,506,305
(配当等相当額)	(595,345,979)	(578,001,818)	(570,648,466)	(555,704,702)	(539,540,339)	(523,875,392)
(売買損益相当額)	(△ 484,935,141)	(△ 476,812,870)	(△ 483,010,280)	(△ 486,016,276)	(△ 487,517,339)	(△ 485,369,087)
(G) 計 (D + E + F)	△ 575,742,998	△ 618,057,565	△ 581,742,777	△ 576,992,946	△ 542,815,000	△ 648,964,398
(H) 収益分配金	△ 18,158,780	△ 17,767,592	△ 17,702,050	△ 17,521,475	△ 17,313,122	△ 17,096,927
次期繰越損益金 (G + H)	△ 593,901,778	△ 635,825,157	△ 599,444,827	△ 594,514,421	△ 560,128,122	△ 666,061,325
追加信託差損益金	105,786,402	95,941,586	78,421,318	60,016,572	42,976,893	27,607,014
(配当等相当額)	(590,721,543)	(572,754,456)	(561,431,598)	(546,032,848)	(530,494,232)	(512,976,101)
(売買損益相当額)	(△ 484,935,141)	(△ 476,812,870)	(△ 483,010,280)	(△ 486,016,276)	(△ 487,517,339)	(△ 485,369,087)
分配準備積立金	2,145	2,116	2,525	779	1,548	629
繰越損益金	△ 699,690,325	△ 731,768,859	△ 677,868,670	△ 654,531,772	△ 603,106,563	△ 693,668,968

(注) 損益の状況の中で (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程 (2018年11月20日～2019年5月17日) は以下の通りです。

項 目	2018年11月20日～ 2018年12月17日	2018年12月18日～ 2019年1月17日	2019年1月18日～ 2019年2月18日	2019年2月19日～ 2019年3月18日	2019年3月19日～ 2019年4月17日	2019年4月18日～ 2019年5月17日
a. 配当等収益 (経費控除後)	13,535,213円	12,520,253円	8,485,622円	7,847,928円	8,267,800円	6,196,744円
b. 有価証券売買等損益 (経費控除後・繰越大損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	595,345,979円	578,001,818円	570,648,466円	555,704,702円	539,540,339円	523,875,392円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	1,276円	2,093円	2,085円	2,472円	763円	1,521円
e. 分配対象収益 (a+b+c+d)	608,882,468円	590,524,164円	579,136,173円	563,555,102円	547,808,902円	530,073,657円
f. 分配対象収益 (1万円当たり)	2,011円	1,994円	1,962円	1,929円	1,898円	1,860円
g. 分配金	18,158,780円	17,767,592円	17,702,050円	17,521,475円	17,313,122円	17,096,927円
h. 分配金 (1万円当たり)	60円	60円	60円	60円	60円	60円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○分配金のお知らせ

	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
1 万口当たり分配金 (税込み)	60円	60円	60円	60円	60円	60円

○お知らせ

約款変更について

2018年11月20日から2019年5月17日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当社ホームページにおいて、より高い安全性を確保するためのセキュリティ対策としてHTTPS化を実施することに伴ない、当ファンドの信託約款における当社ホームページURLの表示を「www.nikkoam.com/」へ変更するべく、2019年2月20日付けにて信託約款に所要の変更を行ないました。(第49条、第49条の2)

その他の変更について

当ファンドが投資対象とするルクセンブルグ籍豪ドル建外国投資信託「オーストラリア・ボンド・ファンドクラスA」につき、さらなる運用成果の向上を図るため、2019年2月20日付で運用ガイドラインの一部を変更いたしました。

具体的には、「格付がA-（長期格付）／A1（短期格付）格相当未満の債券もしくは格付を取得していない債券の組入比率は、合計で純資産の10%以内」とする運用制限を撤廃いたしました。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

種類・項目	オーストラリア・ボンド・ファンド クラスA	
	ルクセンブルグ籍豪ドル建外国投資信託	
運用の基本方針		
基本方針	ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス*のリターンを、3年間で上回る投資成果をあげることを目指します。	
主な投資対象	豪ドル建ての公社債を主要投資対象とします。	
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> ・豪ドル建ての国債、政府保証債、準政府債、社債などに投資します。 ・格付がA-（長期格付）／A 1（短期格付）格相当未満の債券もしくは格付を取得していない債券の組入比率は、合計で純資産の10%以内とします。 ・取得時において、格付がBBB-（長期格付）／A 2（短期格付）格相当未満の債券には投資しません。 ・運用の効率化のために、先物取引やスワップ取引を行なうことがあります。 	
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資は行ないません。 ・証券の空売りは行ないません。 	
収益分配	原則として、毎月12日（休日の場合は翌営業日）に分配を行ないます。 なお、管理会社の判断により収益分配を行わないことがあります。	
ファンドに係る費用		
信託報酬など	純資産総額に対し年率0.54% （国内における消費税等相当額はかかりません。）	
申込手数料	ありません。	
信託財産留保額	ありません。	
その他の費用など	事務管理費用、資産の保管費用、有価証券売買時の売買委託手数料、設立に係る費用、法律顧問費用、監査費用、信託財産に関する租税など。	
その他		
投資顧問会社	日興AMリミテッド	
管理会社	日興AMルクセンブルグ・エス・エイ	
信託期間	無期限	
決算日	原則として、毎年12月末日	

*Bloomberg AusBond Composite 0+ Yr Index（オーストラリアドルベース）を指します。

ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社は、本指数を是認および推奨するものではなく、本指数の全ておよび一部の使用により生じたいかなる損失または損害に関し、一切の責任を負わないものとします。

◆投資ポートフォリオ

オーストラリア・ボンド・ファンド

2018年12月31日現在

通貨	元本金額	明細	純資産に占める割合 (%)	市場価格
		A. 証券取引所で相場が建てられているまたは他の規制市場で取り扱われている譲渡可能証券		
		債券 (97.8%)		
		オーストラリア (86.6%)		
		資産担保証券 (11.3%)		
AUD	298,080	ABA Trust 2017-1 Class A 3.19% due 01/16/2049 ⁽¹⁾	1.0%	AUD 297,466
AUD	364,375	Barton Series 2017-1 Trust Class A1 3.14% due 12/17/2048 ⁽¹⁾	1.2	362,921
AUD	374,341	CNH Industrial Capital Australia Receivables Trust Series 2017-1 2.87% due 08/16/2024 ⁽¹⁾	1.2	373,589
AUD	305,671	ConQuest 2017-1 Trust Class A1 3.12% due 12/15/2048 ⁽¹⁾	1.0	304,806
AUD	304,097	Liberty Series 2017-1 Auto 3.08% due 12/25/2026 ⁽¹⁾	1.0	303,522
AUD	500,000	Medallion Trust Series 2014-1 Class A3 4.50% due 04/22/2046	1.7	501,120
AUD	200,000	Redzed Trust Series 2018-1 3.45% due 03/09/2050 ⁽¹⁾	0.7	199,470
AUD	405,002	RESIMAC Premier Series 2017-2 Class A2 3.14% due 01/15/2049 ⁽¹⁾	1.3	403,479
AUD	314,777	Series 2017-1 Harvey Trust Class A1 3.09% due 12/16/2048 ⁽¹⁾	1.0	313,263
AUD	371,380	Triton Trust No 7 Bond Series 2017-1 Class A1B 3.20% due 12/21/2048 ⁽¹⁾	1.2	370,299
		資産担保証券合計		3,429,935
		社債等 (24.2%)		
AUD	500,000	Ale Direct Property Trust * 4.00% due 08/20/2022	1.7	505,446
USD	200,000	APT Pipelines Ltd. * 4.25% due 07/15/2027	0.9	276,430
AUD	500,000	Australia & New Zealand Banking Group Ltd. 3.10% due 01/18/2023	1.7	503,243
AUD	500,000	Commonwealth Bank of Australia * 3.25% due 07/25/2022	1.6	506,837
AUD	500,000	3.25% due 11/17/2026	1.6	497,152
AUD	300,000	Dexus Wholesale Property Fund * 4.25% due 07/01/2019	1.0	300,233
AUD	500,000	FBG Finance Pty Ltd. * 3.75% due 08/07/2020	1.7	506,083
AUD	500,000	General Property Trust 4.50% due 09/11/2020	1.7	508,112
AUD	500,000	Holcim Finance Australia Pty Ltd. 3.50% due 06/16/2022	1.7	506,643
AUD	500,000	John Deere Financial Ltd. 3.25% due 07/15/2022	1.7	505,870
AUD	500,000	Nissan Financial Services Australia Pty Ltd. * 3.00% due 03/03/2020	1.6	500,228
AUD	500,000	Perth Airport Pty Ltd. 6.00% due 07/23/2020	1.7	523,797
AUD	500,000	Shopping Centres Australasia Property Retail Trust * 3.90% due 06/07/2024	1.6	498,099
AUD	500,000	Toyota Finance Australia Ltd. * 2.72% due 11/22/2021 ⁽¹⁾	1.6	498,381
AUD	500,000	Westpac Banking Corp. * 3.20% due 03/06/2023	1.7	503,636
AUD	200,000	Zurich Finance Australia Ltd. * 3.48% due 05/31/2023	0.7	203,687
		社債等合計		7,343,877
		国債 (51.1%)		
AUD	3,300,000	Australia Government Bond 2.75% due 11/21/2027	11.3	3,418,467
AUD	800,000	3.00% due 03/21/2047	2.7	827,695
AUD	750,000	3.75% due 04/21/2037	2.9	870,878
AUD	1,000,000	4.75% due 04/21/2027	3.9	1,187,382

通貨	元本金額	明細	純資産に占める割合 (%)	市場価格
		債券 (97.8%) (続き)		
		オーストラリア (86.6%) (続き)		
		国債 (51.1%) (続き)		
AUD	500,000	Australian Capital Territory * 3.00% due 04/18/2028	1.7%	AUD 505,968
AUD	3,000,000	New South Wales Treasury Corp. 3.00% due 04/20/2029 *	10.1	3,038,807
AUD	900,000	3.00% due 02/20/2030	3.0	906,669
AUD	2,500,000	4.00% due 05/20/2026	9.0	2,741,090
AUD	500,000	Queensland Treasury Corp. 3.25% due 08/21/2029 ⁽²⁾	1.7	513,180
AUD	1,400,000	3.50% due 08/21/2030 ⁽²⁾	4.8	1,463,930
		国債合計		15,474,066
		オーストラリア合計		26,247,878
		カナダ (3.6%)		
		国債 (3.6%)		
AUD	1,000,000	Province of British Columbia Canada 4.25% due 11/27/2024	3.6	1,083,444
		国債合計		1,083,444
		カナダ合計		1,083,444
		香港 (1.6%)		
		社債等 (1.6%)		
AUD	500,000	Hongkong & Shanghai Banking Corp. Ltd * 2.79% due 12/07/2022 ⁽¹⁾	1.6	496,227
		社債等合計		496,227
		香港合計		496,227
		ルクセンブルグ (1.0%)		
		社債等 (1.0%)		
AUD	300,000	Aroundtown S.A. * 4.50% due 05/14/2025	1.0	301,800
		社債等合計		301,800
		ルクセンブルグ合計		301,800
		ニュージーランド (1.7%)		
		社債等 (1.7%)		
AUD	500,000	Fonterra Co.-operative Group Ltd. 4.50% due 06/30/2021	1.7	521,060
		社債等合計		521,060
		ニュージーランド合計		521,060
		スイス (1.6%)		
		社債等 (1.6%)		
AUD	500,000	UBS AG 2.70% due 08/10/2020	1.6	500,173
		社債等合計		500,173
		スイス合計		500,173
		米国 (1.7%)		
		社債等 (1.7%)		
AUD	500,000	Intel Corp. 4.00% due 12/01/2022	1.7	519,682
		社債等合計		519,682
		米国合計		519,682
		債券合計 (取得原価29,041,738豪ドル)		29,670,264
		証券取引所で相場が建てられているまたは他の規制市場で取り扱われている 譲渡可能証券合計 (取得原価29,041,738豪ドル)	97.8%	AUD 29,670,264
		負債額を超過する現金およびその他の資産	2.2	667,273
		純資産合計	100.0%	AUD 30,337,537

* この投資は他の規制市場で取り扱われている譲渡可能証券。その他すべての投資は公式の証券取引所で相場が建てられている譲渡可能証券。

(1) 2018年12月31日現在の変動金利。

(2) 144A 証券 - 1933年証券法規則144Aに基づき登録が免除された証券。これらの証券は登録を免除された取引において、典型的には適格機関投資家の買手に転売することができる。別段の記載がない限り、これらの証券は流動性が低いとはみなされない。

外国通貨表記

AUD 豪ドル
USD 米ドル

◆損益計算書および純資産変動計算書

オーストラリア・ボンド・ファンド

2018年12月31日に終了した年度

豪ドル

純投資収益

収益

利息

AUD 1,047,820

収益合計

1,047,820

費用

預託費用

19,773

支払利息

1,834

管理報酬

72,022

取引費用

15,342

年次税

3,326

運用報酬

13,575

監査報酬

453

名義書換代理人報酬

13,236

弁護士報酬

2,026

投資顧問報酬

152,721

その他の費用

11,851

費用合計

306,159

投資純利益

741,661

実現および未実現純利益（損失）

投資に係る実現純利益

123,996

先物契約に係る実現純損失

(35,011)

通貨スワップ契約に係る実現純損失

(11,920)

投資に係る未実現評価益の純変動額

433,789

外国為替取引および外国為替先渡契約に係る未実現評価益の純変動額

69

先物契約に係る未実現評価損の純変動額

(9,727)

通貨スワップ契約に係る未実現評価損の純変動額

(6,083)

投資に係る実現および未実現純利益

495,113

運用による純資産の純増加額

1,236,774

資本取引による純資産の減少額

(5,149,277)

受益者に対する分配決定額

(2,570,544)

純資産の減少額合計

(6,483,047)

純資産

期首

36,820,584

期末

AUD 30,337,537

◆統計情報

オーストラリア・ボンド・ファンド

2018年12月31日現在

純資産合計オーストラリア・ボンド・ファンド
クラスA

AUD 30,337,537

発行済受益証券口数オーストラリア・ボンド・ファンド
クラスA

38,720,732

受益証券1口当たり純資産価額オーストラリア・ボンド・ファンド
クラスA

AUD 0.78

マネー・アカウント・マザーファンド

運用報告書

第9期（決算日 2018年10月12日）
（2017年10月13日～2018年10月12日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月30日から原則無期限です。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要運用対象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行ないません。 外貨建資産への投資は行ないません。

ファンド概要

主として、わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして運用を行ないます。ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率		
5期(2014年10月14日)	円		%	%	百万円
	10,042		0.1	60.8	707
6期(2015年10月13日)	10,043		0.0	62.9	620
7期(2016年10月12日)	10,042		△0.0	—	483
8期(2017年10月12日)	10,038		△0.0	—	661
9期(2018年10月12日)	10,032		△0.1	—	595

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	
		騰 落	率
(期 首) 2017年10月12日	円		%
	10,038		—
10月末	10,038		0.0
11月末	10,037		△0.0
12月末	10,037		△0.0
2018年1月末	10,037		△0.0
2月末	10,036		△0.0
3月末	10,036		△0.0
4月末	10,035		△0.0
5月末	10,035		△0.0
6月末	10,034		△0.0
7月末	10,034		△0.0
8月末	10,033		△0.0
9月末	10,033		△0.0
(期 末) 2018年10月12日	10,032		△0.1

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2017年10月13日～2018年10月12日)

基準価額の推移

期間の初め10,038円の基準価額は、期間末に10,032円となり、騰落率は△0.1%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値下がり要因>

- ・無担保コール翌日物金利がマイナス圏で推移したこと。

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.02%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.04%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.17%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.31%近辺で期間末を迎えました。

ポートフォリオ

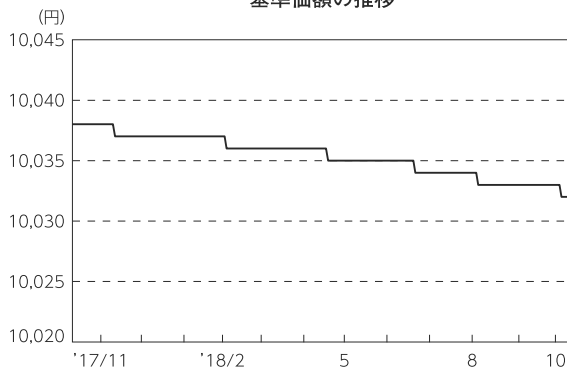
運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

基準価額の推移



期首	期中高値	期中安値	期末
2017/10/12	2017/10/13	2018/10/04	2018/10/12
10,038円	10,038円	10,032円	10,032円

○1万口当たりの費用明細

(2017年10月13日～2018年10月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 1 (1)	% 0.006 (0.006)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	1	0.006	
期中の平均基準価額は、10,035円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年10月13日～2018年10月12日)

該当事項はございません。

○利害関係人との取引状況等

(2017年10月13日～2018年10月12日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	
		百万円	%		百万円	%
金銭信託	百万円 11,132	百万円 11,132	% 100.0	百万円 11,132	百万円 11,132	% 100.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2017年10月13日～2018年10月12日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2018年10月12日現在)

2018年10月12日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2018年10月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	605,858	100.0
投資信託財産総額	605,858	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2018年10月12日現在)

項	目	当	期	末
(A) 資産				605,858,725
	コール・ローン等			605,858,725
(B) 負債				9,859,302
	未払解約金			9,858,703
	未払利息			599
(C) 純資産総額(A-B)				595,999,423
	元本			594,074,221
	次期繰越損益金			1,925,202
(D) 受益権総口数				594,074,221口
	1万口当たり基準価額(C/D)			10,032円

(注) 当ファンドの期首元本額は658,910,922円、期中追加設定元本額は304,155,041円、期中一部解約元本額は368,991,742円です。

(注) 2018年10月12日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・中華圏株式ファンド(毎月分配型)	358,147,422円	・グローバルC o C o債ファンド 新興国高金利通貨コース	725,751円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルレアル>コース(毎月分配型)	36,196,956円	・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・資源国3通貨コース	723,023円
・アジア社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	26,256,562円	・グローバルC o C o債ファンド ヘッジなしコース	691,513円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(マネーボールファンド)	19,096,921円	・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(円ヘッジコース)	635,335円
・インデックスファンドMLP(毎月分配型)	18,570,537円	・グローバルC o C o債ファンド 先進国高金利通貨コース	544,823円
・アジア・ヘルスケア株式ファンド	15,981,965円	・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・円コース	463,986円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルレアルコース	12,364,787円	・世界標準債券ファンド(1年決算型)	460,453円
・世界標準債券ファンド	12,050,910円	・アジア・ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)	381,841円
・エマージング・プラス(マネーボールファンド)	10,591,675円	・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランド>コース(毎月分配型)	356,561円
・ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型) 為替ヘッジなし	9,431,195円	・世界のサイフ2(毎月分配型)	233,801円
・アジア社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	9,152,201円	・インデックスファンドMLP・為替ヘッジあり(適格機関投資家向け)	215,785円
・エマージング・プラス・成長戦略コース	8,702,715円	・ノーロード世界株式トップフォーカス	127,193円
・アジアリートファンド(毎月分配型)	7,421,881円	・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(通貨プレミアムコース)	116,742円
・RS豪ドル債券ファンド	5,978,333円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(1年決算型) 為替ヘッジあり	99,919円
・グリーン世銀債ファンド	4,236,231円	・上場インデックスファンド海外新興国株式(MSCIエマージング)	99,902円
・オーストラリア・インカム株式ファンド(毎月分配型)	3,764,914円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア(為替ヘッジあり)	72,778円
・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(新興国通貨戦略コース)	3,251,660円	・ノーロード・シンガポール高配当株式フォーカス(毎月分配型)	47,478円
・グローバルC o C o債ファンド 円ヘッジコース	3,051,032円	・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(ヘッジなしコース)	40,587円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<米ドル>コース(毎月分配型)	3,035,103円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア(為替ヘッジなし)	38,995円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<オーストラリアドル>コース(毎月分配型)	2,956,103円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(毎月分配型) 為替ヘッジなし	23,036円
・アジアREITオープン(毎月分配型)	2,052,394円	・上場インデックスファンド海外先進国株式(MSCI-KOKUSAI)	19,997円
・エマージング・プラス・円戦略コース	2,037,236円	・上場インデックスファンドNifty50先物(インド株式)	19,983円
・SMB C・日興 世銀債ファンド	1,967,219円	・上場インデックスファンド米国株式(S&P500)	19,983円
・インデックスファンドMLP(1年決算型)	1,694,896円	・上場インデックスファンド豪州リート(S&P/ASX200 A-REIT)	19,977円
・高金利成長通貨ファンド(毎月分配型)	1,671,472円	・アジア債券ファンド(毎月分配型)	16,193円
・ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型) 為替ヘッジあり	1,646,511円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(1年決算型) 為替ヘッジなし	12,325円
・欧州社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	1,507,644円	・上場インデックスファンド新興国債券	9,981円
・日興マナー・アカウント・ファンド	1,146,753円	・上場インデックスファンド米国株式(S&P500) 為替ヘッジあり	9,967円
・ノーロード・インド株式フォーカス(毎月分配型)	1,062,998円	・上場インデックスファンド米国債券(為替ヘッジなし)	9,958円
・日興グラビティ・ファンド	1,051,712円	・上場インデックスファンド米国債券(為替ヘッジあり)	9,958円
・アジア・ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジなし)	957,814円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(毎月分配型) 為替ヘッジあり	4,133円
・欧州社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	786,512円		

(注) 1口当たり純資産額は1,0032円です。

○損益の状況

(2017年10月13日～2018年10月12日)

項	目	当	期
(A) 配当等収益			円
	受取利息	△	361,869
	支払利息		1,241
(B) 保管費用等		△	363,110
(C) 当期損益金(A+B)		△	44,086
(D) 前期繰越損益金			2,493,348
(E) 追加信託差損益金			1,111,221
(F) 解約差損益金		△	1,273,412
(G) 計(C+D+E+F)			1,925,202
	次期繰越損益金(G)		1,925,202

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2017年10月13日から2018年10月12日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。